

とちぎ市議会だより

第35号(3月定例会)
2018.4.25



魔よけだつて〜!

特集

平成30年度の予算が決定	2
広報委員会視察報告	14
議会報告会提言書および 議会基本条例検証結果	15

工事契約を締結	4
(3月定例会で決まったこと)	
11名の議員が市政を質す	6
(一般質問)	
表紙写真の説明	15

平成30年度一般会計 643億1000万円

予算 審査

ぶりに増加

予算の審査って、どんなかんじなの？



議案第1号
平成30年度
一般会計予算

可決 賛成 31
反対 1

皆さんの税金が適切に使われる事業計画となっているか、9月の決算審査での意見が生かされているかなど、全議員が4委員会に分かれて審査しました。

質 疑

直売所出荷農家流通支援事業費

質 支援の対象及び金額は

答 比較的小規模な農家を対象としており、対象者数は約1000名である。また、補助金は手数料の5%を想定している。

質 対象となる直売所とその施設数は

答 栃木市直売所連絡協議会に加盟している直売所が対象施設となり、道の駅も含めて市内に13カ所ある。

栃木総合運動公園陸上競技場整備事業費

質 芝を張り替える必要性は

答 昨年7月の日本陸上競技連盟による事前調査では、芝が10センチ程度盛り上がりつつあることが判明し、投てき種目の結果に誤差が生じるといふ指摘を受けた。

質 芝は張ってから何年経過しているのか。

答 平成元年のオープン以来、張り替えを行っていない。全面張り替えは初めてのことである。

救急救命士養成事業費

質 資格取得人数は

答 平成30年3月1日現在、51名の救急救命士が在籍している。このうち実際に現場で活動している人数は43名であり、の中には、女性職員2名が含まれている。



個人番号カード交付事業費

質 交付実績は

答 平成30年1月末時点で、1万2590枚交付しており、交付率は7.73%である。

質 交付枚数があまり増えていない要因は

答 これまではPRが足りなかったと感じている。来年度はマイナンバーカードの利便性のPRを強化し、市民生活課主導で出前講座等を実施して、カードの交付率アップにつなげていきたい。

討 論

反対

格差と貧困が広がる中、いかにして市民生活を守るかが問われているが、本予算案は市民生活を守る予算になっていない。投資的経費が大幅に増え、今後も大型公共事業が目白押しだ。大型事業を見直し、市民生活に直結した事業に予算を振り向けるべきだ。個人番号カード交付、人権同和対策などは税金のムダ遣いと考える。総合支所の機能強化、子育て支援の充実、保育における質の確保、生活保護に対するケースワーカーの増員を求める。

賛成

(仮称)文化芸術館等整備事業費や北部健康福祉センター整備事業費などの増額により、「投資的経費」は前年度に比べ、約23億円の増加となったが、総合計画の7つの基本方針に各種の事業がバランス良く配置されており、特に定住人口・交流人口の増加や、若い世代の結婚・子育て支援など、本市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく事業に重点化が図られており、厳しい財政状況の中で、メリハリのある予算となっていることについて高く評価する。

前年度比1.7%増

予算額が3年

旧市役所本庁舎跡地に整備する（仮称）文化芸術館や、西方地域に建設予定の北部健康福祉センター（仮称）をはじめ、市内の大型施設整備事業が本格化することから、一般会計当初予算案は3年ぶりに前年度と比べ増額となりました。

市長からは、「新しいまちの完成を目指す『未来へのジャンプ予算』としたい。」との説明がありました。これを受けて、議会では適切な予算編成となっているかどうかの審査をしました。

平成30年度 新規事業の一部を紹介

ホームページリニューアル
事業費 2100万円



市ホームページをリニューアル

119番
外国人電話通訳事業費
46万7千円



外国人からの119番に対応

子ども・子育て支援事業
計画策定事業費
355万6千円



アンケートを3000通発送

健康マイレージ事業費
80万7千円



健康ポイントカードを20歳以上の
全市民に配布

直売所出荷農家流通支援
事業費 733万3千円



販売手数料の一部を補助

篤志奨学金給付事業費
324万円



奨学生の負担を軽く

第27代横綱 栃木山
横綱昇進100周年記念
事業費 68万4千円



・蔵の街美術館企画展の開催
・有識者による講演会 など

立地適正化計画策定委託費
600万円



まちづくりの方針・都市の骨格
構造の検討等

栃木総合運動公園
陸上競技場整備事業費
1億400万円



インフィールド芝張り替え工事

3月定例会で決まったこと

(主な議案)

特集ページで取り上げたもののほか、3月定例会で審査した主な議案についてお知らせします。

各議案の詳細については、市議会ホームページの議案書をご覧ください。下記のQRコードをご利用になると、簡単にアクセスできます。



民間の水準に合わせて

議案第22号 栃木市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定

賛成 29
反対 2
可決

議案の概要

- 1 栃木市議会の議員期末手当について、12月期の支給割合を100分の5引き上げる。
- 2 さらに、6月期の支給割合を100分の2・5引き上げ、12月期の支給割合を100分の2・5引き下げる。

質 疑

質 条例改定後の支給額は

答 議長が135万7562円、副議長が117万9937円、議員

が106万5750円である。

質 国の平成29年度人事院

勧告に従った議員報酬改定か

答 人事院勧告を踏まえ、市が改定の必要性を判断した。

質 今回の増額改定の必要性は

答 社会・経済情勢等を踏まえ、一般職員と同様、国や他の自治体、あるいは民間との均衡を図りながら、改定の必要性があると判断した。なお、近年増額改定が続いたが、減額改定の際にも、同様な基準でその必要性を判断していく。

用語解説

(※) 人事院勧告

労働基本権制約の代償措置として、国家公務員の給与水準を、民間企業従業員の給与水準と均衡させることを基本としている。

再来年度の開館に向けて

議案第54・55号
工事請負契約の締結

賛成 29
反対 2
可決

議案第54号の概要

(仮称) 地域交流センター整備建築
工事の契約を締結するもの。

【契約金額】

・7億5438万円

【契約の相手方】

・大木・荒川特定建設工事
共同企業体

議案第55号の概要

(仮称) 地域交流センター整備機械
設備工事の契約を締結するもの。

【契約金額】

・1億9688万4千円

【契約の相手方】

・日向野・安藤特定建設工事
共同企業体

質 疑

質 入札の経過は

答 大規模改修工事であるため、

施工段階において予見できない問題が発生する可能性もあると想定し、建築、電気、機械設備を一括として入札を行った。入札への参加申請期限が1月18日までであったが、参加業者がなく不調となったため、再入札を行った。

質 不調となった要因は

答 工事費の割合は建築70%、機械設備18%、電気12%であるが、最初の一括発注の際に共同企業体の出資比率に関し、最低20%という条件を付していた。電気設備事業者としては負担が大きかったことが不調となった要因の一端ではないかと推測される。

質 入札における競争性の確保は

答 予定価格を事前公表しており、各企業が真摯に積算して応札していると考ええる。事後審査型であり、きちんと審査されて落札という結果が出たものであるため、競争性は保たれていると考ええる。



再整備される旧栃木中央小

本会議の表決前に、他の議員の賛同を得るために、発言した議員名と討論が行われた議案番号は次のとおりです。(○=賛成 ●=反対)

- 白石幹男 議員 ・議案第1号、第2号、第3号、第4号、第31号、第32号
- 高岩義祐 議員 ・議案第1号、第2号、第3号、第4号、第31号
- 大武真一 議員 ・議案第2号、第3号、第22号、第23号、第24号、第54号、第55号
- 岡 賢治 議員 ・議案第22号、第23号、第24号、第32号、第54号、第55号

討論(議案第22・23・24号)

反対

人事院勧告に沿った形で、本市職員、議員、特別職(市長等)について給料、ボーナスの引き上げが提案されているが、議員、特別職のボーナス引上げは労働権の制約とは無縁の存在であり、基本的に人事院勧告とは無関係と思われる。また、市職員の平均年収は600万円を超えていること、議員のボーナスは100万円、市長等は200万円を既に超えており、引き上げの必要性はないと考える。

賛成

国の大臣等の期末手当の支給については、特別職の職員の給与に関する法律で、一般職の職員の例によると定められており、国会議員の期末手当についても、法律により、特別職の職員の例によると定められていることから、地方においても、国に準じて対応してきた。また、本市を含む多くの市町村は、給与を引き下げた場合でも、人事院勧告を尊重し、国の例に倣い、給与引き下げの改定を行ってきた経緯があることから、いずれも賛成とするものである。

議案等の審議結果

3月定例会では、議案56件、決算の認定1件が審査され、その内全会一致は46件、賛否が分かれた議案は11件でした。

賛否が分かれた議案の各議員の賛否は以下のとおりです。

○=賛成、●=反対

議案番号	議案名	採決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	19	20	21	22	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34		
			大谷好一	茂呂健市	青木一男	針谷育造	坂東一敏	広瀬昌子	小久保	古沢ちい子	松本喜一	渡辺照明	白石幹男	関口孫一郎	氏家晃	平池紘士	針谷正夫	大出三夫	大阿久岩人	長芳孝	千葉正弘	入野登志子	天谷浩明	広瀬義明	福富善明	大武真一	海老原恵子	永田武志	岡賢治	小堀良江	梅澤米満	中島克訓	高岩義祐	福田裕司		
第1号	平成30年度 栃木市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2号	平成30年度 栃木市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第3号	平成30年度 栃木市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第4号	平成30年度 栃木市介護保険特別会計(保険事業助定)予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第22号	栃木市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第23号	栃木市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第24号	栃木市職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第31号	栃木市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第32号	栃木市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第54号	工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第55号	工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長のため採決には加わらない



千葉 正弘 議員
新風創志会

投票時間の繰り上げをいつの選挙から導入する考えか

平成 28 年 12 月議会の一般質問で、「選挙当日の投票時間を 2 時間繰り上げてはどうか」との提言に対して、「前向きに検討したい」との答弁があったと認識している。

この 2 時間繰り上げに関して、いつの選挙から導入する考えで検討を進めているのか。

また、検討の進捗状況について併せて伺う。

答弁 田中選挙管理委員会事務局長

県議会議員選挙から実施したい

実施の時期については、周知期間などを考え、平成 31 年 4 月に執行予定の、県議会議員選挙から実施したいと考えている。

しかしながら、投票時間を短縮す

- 鈴木市長のこの 4 年間
- 選挙当日の投票時間短縮の取り組み状況等
- 通勤者特急購入費の補助制度（案費）
- 居住地周辺の側溝清掃等

ることに伴い、投票環境が低下するのではないかと懸念もあることから、現在、どういった事に取り組んでいくべきなのかを検討している。

具体的には、増加傾向にある期日前投票の更なる充実を図るため、新たな期日前投票所の設置について、選挙の公正性・地域間のバランス・二重投票を防ぐためのシステムの確保・費用対効果などの検証をしている。

また、移動が難しいとされる高齢者や障がい者の方の投票機会の確保を含め、各投票所のバリアフリーなどといった設備環境の再確認、再検討も併せて行っている。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



小久保かおる 議員
公明党議員会

外国人登録者数、観光客の増加に伴う救急搬送の対応は

本市では近年、留学生を中心として、外国人登録者数が飛躍的に伸び、また本市を訪れる外国人観光客が増加する中、救急需要がさらに増大することが予想される。

外国人の救急搬送に関して、救急現場での外国語によるコミュニケーションが課題と考えるが、限られた財源の中で、救急資源を効率的に活用し、救急サービスの維持・向上を図るために、外国人の救急車搬送の対応について伺う。

答弁 増山消防長

三者間同時通訳ができる体制を平成 30 年度に整備する

外国人観光客の増加などに伴い、救急現場で外国人傷病者と接する機会が多くなるため、総務省

- 渡良瀬遊水地の魅力発信
- 外国人の救急救命対応
- 介護人材の育成

所管の消防研究センターと情報通信研究機構において救急隊用の多言語音声翻訳アプリ「救急ボイストラ」が開発され、本市では平成 29 年 6 月 8 日から運用を開始している。

今後は、この救急ボイストラのほか、119 番通報時から病院到着まで、外国人傷病者と救急隊との間で電話通訳センターを介して、三者間同時通訳ができる体制を平成 30 年度に整備していく。





針谷 正夫 議員
黎明

JAとの連携を生かし事業の具体化を

本市と両農協（JAしもつけ・JAかみつが）との包括連携協定が締結されたことは喜ばしいことだが、締結はスタートであり、本協定を具体的な成果に結びつけることが必要だ。

県はイチゴ王国を宣言し、イチゴ消費拡大に追い風が吹いている。今こそ東武線沿線両農協のイチゴPRを東武鉄道にお願いしてはどうか。
地域農産物の積極的なPR及び新たなブランド商品の開発について伺う。

【答弁】高崎産業振興部長

両農協の強みを生かした効果的なPR戦略を構築していく

両農協は、管轄する地域が隣接

- 栃木市と下野農業協同組合・上都賀農業協同組合との包括連携協定
- 県行分収造林事業

し、しかも地域の重要な公共交通機関である東武鉄道でつながり、広域的なPRが可能な位置関係にあることから、今回の協定締結は、PRの強化を進めていく上で、絶好の機会と捉えている。

今後、観光振興だけではなく、農業分野についても、沿線の関係自治体、そして東武鉄道に対して働き掛けを行い、両農協の強みを生かした効果的なPR戦略を構築していく。

また、「新たなブランド商品の開発」については、市が仲介役となり、豊富な知識を持つ農協と、加工販売のノウハウを持つ地元企業との異業種間交流の場を設けていく。

用語解説

（※）包括連携協定

地域の課題に対して、自治体と企業等が双方の強みを生かして解決に取り組むための枠組みのこと。
本市では昨年までに、足利銀行・栃木信用金庫・国学院栃木短大・栃木農業高校・文星芸大と協定を締結している。

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



広瀬 義明 議員
大樹

地域の中で学校の教育環境の向上を

小中学校の教育現場では、限られた予算の中で、備品等の購入に苦慮していると聞く。本市は学校と地域をつなぐ「とちぎ未来アシストネット」を実施しており、さらにコミュニティスクールで、学校の運営にも地域の意見が反映されている。

財政法上、行政が寄附・寄贈を募れないならば、地域で「地域学校応援団」を設立し、学校と連携を図りながら、個人や事業所の方々に寄附・寄贈を募り、学校の教育環境向上を提案する。

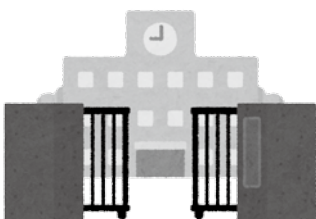
【答弁】高橋教育部長

学校支援活動の活性化や、教育の質の向上につながるものと考え

- 小中学校における教育環境の支援
- 大平地域友田山開発
- 栃木市消防庁舎整備基本構想

現在、本市教育委員会では、個人や各種団体、事業所等から善意の寄附を受け入れるシステムが既に確立しており、法令に基づいて寄附受け入れマニュアルを作成し運用している。

提案の「地域学校応援団」については、各学校で、行政からの働き掛けではなく、地域の方々が自発的に組織するといった意味では、学校と地域との連携に協力する住民が増加し、学校支援活動の活性化や、教育の質の向上につながるものと考え。





針谷 育造 議員
市民クラブ

小野寺歴史と文化の道構想で市の方針は変えられるか

小野寺北小旧校舎は明治27年に建てられた県内最古の学校であり、文化財関係者から高い評価を受け、市もその価値を認めている。この地区には国指定重要文化財の村松神社、慈覚大師円仁の大慈寺、県指定阿弥陀如来像の住林寺等の歴史遺産が多数ある。しかし、市は旧校舎の一部部材を保存して解体する方針だが、「小野寺歴史と文化の道構想」の骨子案を見て方針を変えるつもりはないか。

答弁 鵜飼生涯学習部長

現段階で方針は変わっていない

「小野寺歴史と文化の道構想」の骨子案は、小野寺ふれあい会準備会の解体中止要望書に添付され

- 会計年度任用職員制度に対する市の対応
- 思川開発事業
- 小野寺北小旧校舎の保存

たもので、準備会の歴史文化部会において検討中のものということである。その内容は、小野寺北小旧校舎の活用案を主としたものであり、地域全体のまちづくり計画とするには、内容も十分とは言いがたく、骨子案ということでも、まだまだ練り上げる必要があるという印象を受けた。

小野寺北小旧校舎について、現段階では、解体のうえ一部部材保存の市の方針は変わっていないが、今後一日も早く、地域の総意として、地域住民の皆様が主体となった熟度の高い、地域全体のまちづくり計画を作成していただければと思う。



歴史的価値を有する小野寺北小旧校舎

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



古沢 ちい子 議員
公明党議員会

祖父母のために孫育て手帳の作成を

近年、社会環境などの変化に伴って育児方法が変化し、不安を抱く祖父母も多いと思う。今どきの育児を知るために、「孫育て手帳」を独自で作成し配布する自治体も増えているが、本市でも作成する考えはあるのか伺う。

答弁 藤田保健福祉部長

育児冊子に祖父母向けの育児情報コーナーを設けたい

孫育て・祖父母手帳は、孫が生まれる祖父・祖母に向けて、今と昔の子育ての違いや親世代とのかかり方、子どもとの遊び方などが記されている冊子である。

近年、両親の共働ぎが増え、祖父母世代の協力は欠かせないが、医学や研究の進歩、環境の変化な

- 市民協働のまちづくり
- 安心な出産と育児支援

どで育児方法が大きく変わる中、祖父母世代にとつての孫育ては、非常に不安や戸惑いがある。

また、親世代は、昔の子育ての常識を知らないからこそ起こる世代間ギャップを理解し、相互のコミュニケーションをより円滑にする必要がある。

そのため、祖父母世代や親世代が共に学べる祖父母手帳等は非常に有効と思われるので、来年度において、まずは、「こんにち赤ちゃん事業」等で配布する育児冊子を活用し、現在の子育て事情や昔から変化した育児の常識等について、分かりやすく解説した祖父母向けの育児情報コーナーを設けていきたい。





大武 真一 議員
無会派

20〜30年後の将来を見据えた対策は

市は10年間の総合計画に基づき、市政運営を行っているが、将来の人口推計をどのように捉えているか。急速な人口減少・超高齢社会へ対応するためには、20年後、30年後を見据えた長期的政策の準備が執行部の重要な仕事である。

第2の故郷を作る「セカンド市民制度」や、中高年の方々が本市に移住する「日本版CCRC」、及び地域包括ケアシステム等の充実について伺う。

答弁 茅原総合政策部長

状況にあった最善策を模索しながら提供していく

2025年には本市の人口の3人に1人が高齢者という「超高齢社会」が想定され、急速に進む人

- 未来自治体の人口減少、超高齢社会対策
- 市民の健康と命を守る
- “とちぎ×デジタルセンター”の経営
- 栃木市の情報公開と説明責任

口減少社会に対応するには、市民協働のまちづくりの推進や、コンパクトシティの実現による効率的な行政運営が必要である。

市街地エリアは商業施設や官公庁が集積し、介護付高齢者向け住宅が整備され、高齢者の方が歩いて買い物等ができる環境が本市の将来像だと考える。

また、地域包括ケアシステムを構築し、医療・介護の専門的な支援が切れ目なく提供できる体制整備等にも取り組んでおり、「セカンド市民制度」等を現在の取り組みと併せて検討し、状況にあった最善策を模索しながら提供していく。



地域包括支援センターがある大宮公民館

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



入野 登志子 議員
公明党議員会

市民が求める埋葬形式の検討及び聖地公園の拡張は

少子高齢化や核家族化などで、お墓を代々受け継ぐことが難しい状況である。今後は、納骨堂やそれ以外の埋葬の形式など、市民の方が求める埋葬の在り方を検討していかなければならない。これまでどのような調査・研究を行ってきたのか。また、お墓を求める方が待っている状況であるが、現在の聖地公園を拡張する予定についても伺う。

答弁 若菜生活環境部長

多様化する要望への対応と新たな墓域設置について検討する

市民の墓地形態に対する要望は変化しており、納骨堂、合葬墓や樹木葬など多様な形態に関する電

- 平成30年度当初予算
- 聖地公園
- 本市の地域公共交通

話や、窓口での問い合わせが寄せられている。

今後の墓地需要については、区画墓地だけでなく、「墓石を要しない形態」、「承継を要しない形態」についての要望がさらに増えてくると予想されることから、県内外の墓地形態についての聴き取りや情報収集を行った。

これらを踏まえて、市民の多様化する墓地要望にいかに対応すべきか検討するとともに、併せて、栃木市聖地公園内の緑地を利用した、新たな墓域設置の可能性についても検討を進めていく。



新墓域設置が検討される栃木市聖地公園



渡辺 照明 議員
誠心

千塚産業団地の今後の見通しは

栃木市の重要な課題として、働く場所の確保が挙げられる。長い年月を経て、千塚産業団地が完成したが、事業費や分譲の契約状況について伺う。

【答弁】 鈴木市長

平成30年度中の完売を目指すとともに、優良企業の誘致を行っていく

千塚産業団地は、平成26年度より本格的な整備に着手し、昨年10月に全ての造成工事が完了した。総事業費については、用地費、造成費、新千塚橋の整備費など約32億2千万円であり、分譲地をすべて分譲した場合の収入見込み額の約37億5千万円との差し引き

● 栃木市の産業基盤整備

で、約5億3千万円が黒字となる見込みである。

分譲状況については、本年1月末時点で、製造業7社、物流業1社の合計8社と契約に至っている。現在も5社と商談中であり、確定すれば約8割を超える分譲率となる。

進出が決定している企業の立地計画や設備投資額から試算すると、新規雇用者は約540人が予定され、市税については、年間約1億9千万円の増収を見込んでいる。現在、残るすべての区画に対して企業から引き合いが来ており、平成30年度中の完売を目指すとともに、優良な企業の誘致を積極的に展開していく。



分譲が好調な千塚産業団地

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



白石 幹男 議員
無会派

総合支所機能を強化し、総合窓口の設置を

合併による地方交付税の算定替えの見直しが行われ、地方交付税の削減は3割程度にとどまった。

その中には、支所機能を維持するための機能の経費が含まれ、支所機能維持のための財源措置がなされた。

人口減少、少子高齢化が進む中、地域活性化の拠点として総合支所を再構築すべきである。また、ワンストップサービスの総合窓口を設置すべきではないか。

【答弁】 鈴木市長

本庁職員が総合支所に出向くことにより、利便性の向上に努めている

総合支所には、地域のまちづくり機能、行政の窓口機能及び防災

● 総合支所機能の強化

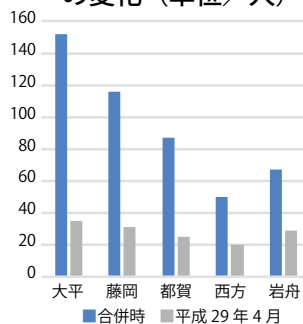
- 国民健康保険
- 大型公共事業・ハード事業の見直し

機能を配置しており、今後はまちづくり機能と公民館などが有する生涯学習機能を連携させ、地域の様々な分野のまちづくりに携わる方々のすそ野を広げ、地域の活性化を図っていきたい。

窓口機能については、市民生活課と地域包括支援センターを配置することにより、総合支所内の総合窓口化を図っている。

また、総合支所に窓口がない業務についても、本庁職員が総合支所に出向くことにより、市民の皆さまの利便性の向上に努めている。

各総合支所の職員数の変化 (単位/人)





大谷 好一 議員
誠 心

75歳以上の高齢者のふれあいバス利用の無料化を

本市の運転免許証自主返納支援制度は改定され、ふれあいバスと蔵タクの共通乗車券（1万円分）となったが、支援は1人1回であり、回数は変わっていない。支給された分が使い終わると、その後の利用は有料となるため、利用しづらい環境にあると言われている。

交通安全対策と地域公共交通の利用促進を図るためにも、高齢者専用バスカード等を作成し、75歳以上の高齢者が無料で乗車できる制度ができないか伺う。

答弁 鈴木市長

他市の制度を参考にし、早い時期に結論を出していきたい

ふれあいバスの制度を持続可能

- 千塚産業団地の造成事業の成果
- 無電柱化の推進に向けた取り組み
- ふれあいバスの利活用

なものとするためには、低廉な運賃に配慮しつつも、一定の運行経費の負担をいただく必要がある。

しかし、高齢者や免許返納者の利用促進は、公共交通の充実を図るうえで、重要な課題であり、より多くの高齢者の皆様にご利用いただけるようにしていかなければならない。

現在策定中の「栃木市地域公共交通網形成計画」の中で、運賃体系の見直しも併せて検討していきたい。

他市では、高齢者の利用料金を無料にはしないが、極めて低廉な料金で利用できる「高齢者専用バスカード」などの制度があり、これらを参考にしながら、できるだけ早い時期に結論を出していきたい。



ふれあいバス・蔵タク
共通乗車券

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



▶ 図書室をさらに活用しやすいようにリニューアルしました



新たに9冊の書籍を購入しました

議員の調査・研究を深めるため、議会では毎年書籍を購入しています。

今回は「地方議員のための役所を動かす質問のしかた」や「地方議会運営事典 第2次改訂版」など、より実用的なものを中心に選定いたしました。

議員だけでなく、市民の皆様も自由にご覧いただけますので、議会にお越しの際にはぜひ、お立ち寄りください。

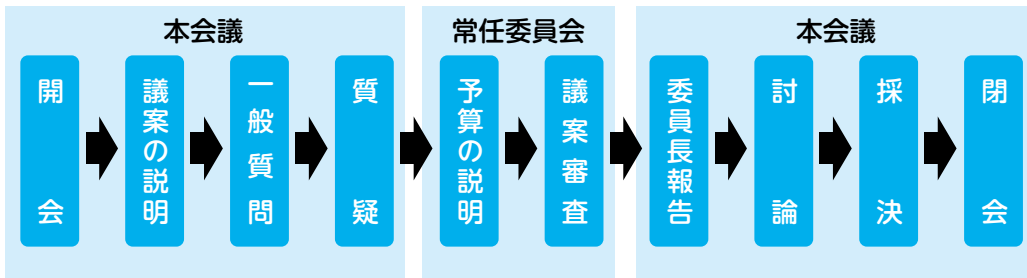


議場見学と併せて
見に来てね。

いまさら聞けない「議会」のことについて

なかなか忙しくて議会を見に来られない方や、今まで議会に関心がなかった方のために、今回は「いまさら聞けない議会のこと」として、議会に関する基本的なことをご説明いたします。これを一読して議会に興味を持たれた方は、ぜひ一度、議場に足をお運びください。

定例会のながれ …3月議会を参考にご紹介いたします…



①一般質問ってなに？

市民の代表者である議員が、市の課題や政策等に関して、市長や担当部長に尋ねることです。定例会中の本会議で実施され、質問時間は議員1人当たり30分以内としています。

②常任委員会ってなに？

本会議にはたくさんの条例や予算などの議案が提出されます。そこで、これらを各分野別に分けて審査するために設けられているものが常任委員会です。



本市議会では総務、民生、産業教育、建設の4つの分野に分け、全議員がいずれかの委員会に属し、それぞれの委員会で各議案を審査しているよ。

③質疑・討論ってなに？

質疑：提出された議案や予算などについて市長や担当部長に尋ねること。
討論：議案や予算などの説明を聞いた後に、反対、もしくは賛成の立場で議員が自分の意見を述べること。



産業教育常任委員会で審議している様子



議員の質問に答弁している様子

④他にはどんな会議があるの？

計画や施策などが決まる前に、担当課から説明を聞く議員研究会などがあります。本会議初日にも研究会が行われ、JR栃木駅新発車メロディなどについて担当課より説明を受けました。

市議会だよりはこうして作られています

市議会だより作成の裏側をお見せします

本市議会では、先進地視察研修を踏まえて、少しずつではありますが、議員が主体となった議会広報紙の作成に取り組んでいます。

今回は発行スケジュールの作成から広報紙が出来上がるまでの流れをご説明いたします。

①1回目の広報委員会

モニターアンケートの結果を検証し、今号の発行スケジュールや紙面の構成、各委員の役割分担などを決定します。



委員全員で意見を出し合います

②各議員が原稿作成

一般質問を行った議員は、いくつかある質問の中から、紙面に掲載する質問を自ら選定し、登壇日の翌々日までに原稿を提出します。



一般質問終了後に顔写真を撮影

③2回目の広報委員会

各議員や担当の委員が作成した原稿を基に出来上がった試し刷りを、委員全員で1ページずつチェックします。また、モニターアンケートの質問項目を決定します。



表紙写真は写真アドバイザーの意見を参考に

④各委員がモニターに配付

納品された議会だよりを各委員が議会広報紙モニターに配付します。また、その際にアンケート用紙も配付し、今後の紙面づくりに反映させます。

今回ご協力いただいたモニターの皆さま

- 大丸 愛理さん ●藍沢 健太郎さん
- 稲尾 正和さん ●安田 民和子さん
- 今井 宏明さん ●富山 佐知子さん
- 宮本 恵子さん ●堀江 一男さん

約1年半、ご協力いただきありがとうございました。今後も引き続きご愛読いただきますようお願いいたします。

お知らせ

一般質問等、全てご覧になりたい方は…紙面の都合上、すべて掲載できないので…

ケーブルテレビ112 ch では、本会議のうち、一般質問の様子を生中継しています。

また、インターネットでは、市議会ホームページにて、全ての本会議を生中継で視聴できます。

さらに、各定例会の会議録は、各地域の図書館にも閲覧用として置いてありますので、一般質問の全てをご覧いただくことができます。

●インターネットでの視聴方法

栃木市ホームページ を開いて、栃木市議会の



インターネット (ユーストリーム) をクリック

▶ より良い「議会だより」作りのために（議会広報紙発行特別委員会）



視察先の栗原市議会議場にて

1月18日、宮城県栗原市を行政視察のために訪問しました。

視察研修の目的は、「議員による広報紙の作成について」を学ぶことでした。栗原市議会では、議会だよりをほとんど議員だけで作成しています。

研修では、栗原市議会広報編集特別委員の方々および議会事務局職員の出席をいただき、広報紙の作成について丁寧な説明を受け、活発な質疑応答がありました。

この視察研修で学んだことを生かし、市民の皆様にも身近でより良い議会だより作りがなされてまいります。

▶ 本市の取り組みが高く評価されました（議会広報紙発行特別委員会）

1月24日、茨城県筑西市議会広報委員会の視察訪問を受けました。

本委員会正副委員長と、議会事務局で対応させていただきました。

議会だより作りについて説明をした後、質疑応答がありました。質疑では、表紙写真の撮影について、写真アドバイザーについて、広報紙モニターについて等、様々な質問をいただきました。また、タブレット端末使用についてもかなり関心を寄せていました。

この視察研修が筑西市議会にとって、有意義なものになることを願って、お見送りいたしました。



本委員会正副委員長の説明に耳を傾ける筑西市議

▶ より進んだ取り組みを学ぶために（議会運営委員会）



彦根市議会での丁寧な説明に聞き入る様子

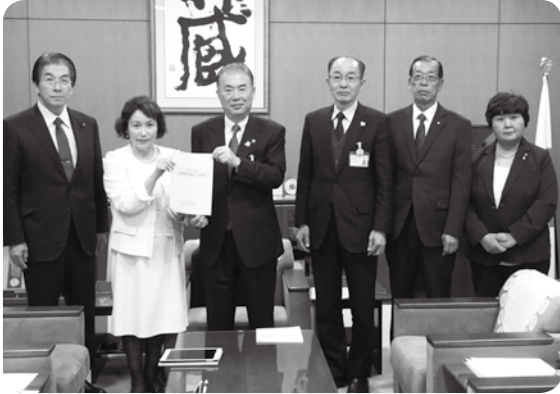
1月9日（滋賀県彦根市議会）

10日（滋賀県近江八幡市議会）

彦根市議会では、議会開放推進プロジェクトチームの設置や議会報告会などでワールドカフェ方式を取り入れるなど、市民に議会をより身近に感じていただく取り組みを学びました。

また、近江八幡市議会では、常任委員会における議員間の自由討議の進め方など、議会活性化に向けた取り組みについて説明を受けた後、質疑応答を行いました。

▶ 皆様の声を市長に届けました（議会報告会提言書）



市内9カ所及び各常任委員会で開催した議会報告会で、市民の皆さまからいただいた意見をまとめ、今後の市政運営に生かしていただくよう、市長へ提言いたしました。

詳しい内容は市のHPに掲載してあるよ。



市長に提出した提言事項

1. 防災対策の強化
2. 安全・安心なまちづくりの取り組み
3. とちぎメディカルセンターへの支援
4. 道路整備による通行者の安全確保
5. 教育環境の整備充実
6. 次世代を担う人材の確保・育成

▶ 改選後の市議会に繋げていくために（議会基本条例の検証）

【第2期】 栃木市議会基本条例 検証結果報告(A・B・Cの3段階評価)

議会運営委員会で、本市議会の最高規範である栃木市議会基本条例の目的が達成されているかの検証（第2期）を行い、その結果報告書を議長あて提出いたしました。

第2期となる検証については、第1期の検証（平成27年9月実施）で「B評価」とされた条項のうち、特にその対応が必要と思われる事項について実施することとしました。

検証結果報告書の詳細については、市議会ホームページに掲載されていますのでご覧ください。

検証項目	第1期	第2期
①議員間の活発な自由討議	B評価	B評価
②情報発信の強化	B評価	B評価
③政策立案機能の充実	B評価	B評価
④議員定数及び議員報酬	B評価	A評価
⑤条例検証の時期	B評価	A評価

申し送り事項

今回の検証結果を基に、次の項目について改選後の議会に申し送ることとしました。

- ①本検証の結果を改選後の議会に引き継ぐこと
- ②本検証でBランクと評価された項目については取り組みを強化すること
- ③本条例の趣旨に沿った議会活動を継続すること



表紙の写真

魔よけだつて～！

大平西保育園における、節分の行事での一コマ。

鬼はヒイラギやいわしのにおいが嫌いであることなどを話した後、実際に子どもたちに見せて、においも体感している瞬間の写真です。左の子はにおいをかいでいて、隣の2人は「えー」と言いながら少し身を引いている姿が可愛らしく感じます。

このような風習は今後も続いていくことを願っています。

(撮影者：千葉正弘委員)



MONITOR INTERVIEW

8

モニターインタビュー No.8

各委員が、紙面を充実させるためのアンケートにご協力をいただいている「議会広報紙モニター」にインタビューをするコーナーです（今回のインタビュアー：白石幹男委員）

広報紙モニターになってみてのご感想をお聞かせください

A：モニターになってからは、全ての記事を読み込むようになりました。写真の感想を問われたこともあり、今まではさっと目を通すだけだった表紙も、じっくりと見るようになりました。一般質問では各議員の姿勢や思いを知ることができ、とても参考になりました。

改選後の新しい議員、新しい議会に望むことは何でしょうか

A：まず、市民の声をしっかりと聴いてくれる議員を望みます。市民の生活に目を向け、市民の苦難がどこにあるのかを見極め、市民の代表として市政に届けて欲しいと思います。また、弱い立場の人々にこそ寄り添う議員であって欲しいと思います。そして議会が市政をチェックする機能をしっかりと果たして欲しいと願います。



議会広報紙モニター 安田 民和子さん

今、若い世代の政治離れが深刻になっています。政治に信頼が置けず、どこか他人事のように感じてしまう…。政治は自分たちが主人公なのだ実感できるように、まずは地方の政治が信頼を取り戻すべく、新しく議員になられた方々にご活躍いただきたいと思っております。

傍聴にお越しく下さい!!

近年の本会議傍聴者数推移 (単位/人)

Table with 5 columns: Year (H26, H27, H28, H29) and 4 rows of monthly data (March, June, September, December) plus a total row.

5月臨時会と6月定例会の日程や一般質問の内容は、確定次第、ホームページ等でお知らせいたします。4月の選挙を踏まえて議会人事も一新されますので、ぜひ傍聴にお越しく下さい!

3月定例会の傍聴者は・・・95人でした。

広報紙発行特別委員会

現広報紙発行特別委員会として今号は、最後の発行となりました。

「とちぎ市議会だより」は、市民の皆様と議会をつなぐ大切な媒体です。私たちは、様々な改革を続けてきました。その成果は、紙面から感じていただけたと思います。

主な改革は、議会だよりは、原則自分たちで作る

・モニターや写真アドバイザーの意見を反映する等々です。

次期広報委員には更なる改革で、より一層市民の皆様が読みたくなる議会だよりの発行に期待いたします。(千葉正弘 記)

委員長 青木 一男 副委員長 氏家 一男

写真アドバイザー

青木 一男 氏家 一男 針谷 育造 坂東 敏夫 小久保 幹夫 白石 正弘 針谷 正弘 千針 弘夫 中時 島田 優次

お詫びと訂正 2月20日発行の第34号 (P14) の広瀬議員の答弁者は松本ことも未来部長の誤りです。お詫びして訂正いたします。